

ユニバーサルデザイン推進計画 進捗状況《成果指標》									
基本理念	成果指標	現状値 (2017年度)	目標値 (2023年度)	実績値				累計値	現所管部 部
				2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		
ハード	バリアフリー基本構想で設定した歩道の整備率 [出典]バリアフリー基本構想進捗状況調べ	48.2%	69.7%	51.7%	54.8%	55.5%	55.5%	—	都市基盤部
ハード	バリアフリー基本構想で設定した特定事業の整備率 [出典]バリアフリー基本構想進捗状況調べ	39.0%	70.0%	39.0%	39.0%	56.0%	58.0%	—	都市基盤部
ハード	区有施設等の合同点検実施件数 (2018年度からの累計値)	—	12件	13件	0件	2件	0件	15件	企画部
ソフト	行政手続における電子申請の利用割合 [出典]企画部調べ	60.2%	68.0%	60.3%	62.2%	59.2%	69.5%	—	総務部
ソフト	週1回以上活動を行っている通いの場の数 [出典]介護予防・日常生活支援総合事業の実施状況に関する調査	119か所	150か所	169か所	165か所	165か所	167か所	—	地域支えあい推進部
ソフト	商店街・地域の多言語化・ユニバーサルデザイン化支援数(2018年度からの累計値) [出典]商店街チャレンジ戦略支援事業実績報告	2事業	17事業	4事業	1事業	3事業	0事業	8事業	区民部
ソフト	ユニバーサルデザイン関連創業等支援セミナー参加者数(2019年度からの累計値) [出典]産業振興センター指定事業結果報告	—	480人	—	93人	51人	75人	219人	区民部
ソフト	情報発信のユニバーサルデザインガイドラインに基づく見直し・改善数 (2019年度からの累計値)	—	200件	—	17件	119件	257件	393件	企画部
ハート	学校は思いやりや優しい心を育てていると回答している保護者の割合 [出典]学校教育に関する保護者アンケート	小:81.5% 中:75.6%	小:85.0% 中:80.0%	小:80.8 中:73.3	小:74.7 中:71.0	小:76.7 中:70.9	小:79.2 中:75.2	—	教育委員会事務局
ハート	職員のユニバーサルデザイン研修(人権セミナー研修を含む)延べ受講者数 (2018年度からの累計値) [出典]職員研修実績調べ	154人	1515人	194人	235人	326人	305人	1060人	総務部 企画部
ハート	ユニバーサルデザインサポーターの延べ養成人数(2019年度からの累計値)	—	100人	—	18人	0人	67人	85人	企画部
ハート	ユニバーサルデザインの理解促進事業の延べ参加者数(2017年度からの累計値)	72人	572人	72人	42人	0人	115人	229人	企画部
ハート	区民公益活動に関する政策助成による助成団体数(2019年度からの累計値)	—	12団体	—	10団体	9団体	11団体	30団体	地域支えあい推進部

ユニバーサルデザイン推進計画 進捗状況《主な取組》

基本理念	施策の方向	主な取組	2019年度の取組実績		2020年度の取組実績		2021年度の取組実績		現所管部	
ハード	1	1 利用しやすく安全で快適なみち・公園づくり								
	1	1 安全で快適に通行できる道路・歩行空間の整備								
	1	1	中野駅周辺まちづくり、西武新宿線沿線まちづくり、防災まちづくりなど、各事業の進捗にあわせて道路の整備を進めます。	A:実施した	都市計画道路等の整備に向け、道路予備設計や関係機関協議を実施した。	A:実施した	都市計画道路等の整備にむけた道路用地を取得した。	A:実施した	西武新宿線沿線まちづくりや、各地区の防災まちづくりの進捗にあわせ、整備にむけて必要となる道路用地を取得した。	まちづくり推進部
				A:実施した	中野駅周辺においては、各地区のまちづくりにあわせ、必要となる道路の整備を進めた(中野二丁目地区、中野三丁目地区)。	A:実施した	中野駅周辺においては、各地区のまちづくりにあわせ、必要となる道路の整備を進めた(中野二丁目地区、中野三丁目地区)。	A:実施した	中野駅周辺においては、各地区のまちづくりにあわせ、必要となる道路の整備を進めた(中野二丁目地区、中野三丁目地区)。	まちづくり推進部
	1	1	既存の道路について、歩道の整備・改善や傷んだ道路の維持補修工事とあわせて、順次、道路の段差解消や坂道への手すり設置などバリアフリー工事を進めます。	A:実施した	区道31-240(新井天神通り)	A:実施した	区道23-560(宝仙寺前通り)	B:実施できなかったが、次年度実施予定	2023年度の実施に向けて調整を進めた。	都市基盤部
	1	1	違反屋外広告物や商店の商品のはみだし等、不法占用に対して、商店街や地域、警察署などの関係機関と連携し、指導・取締を推進します。	A:実施した	・違反広告物撤去回数 24回 ・違反広告物撤去枚数 12,503枚	A:実施した	・違反広告物撤去回数 24回 ・違反広告物撤去枚数 12,029枚	A:実施した	・違反屋外広告物撤去回数 24回 ・違反屋外広告物撤去枚数 9,020枚	都市基盤部
	1	1	自転車利用のルールやマナー向上の啓発とともに、各駅周辺を中心に、放置自転車の指導・警告、撤去活動を実施します。	A:実施した	【自転車安全利用講習会】 自転車利用のルール、マナー向上を図ることを目的に「自転車安全利用講習会」を4回実施した。参加者284人。	A:実施した	【自転車安全利用講習会】 自転車利用のルール、マナー向上を図ることを目的に「自転車安全利用講習会」を4回実施した。参加者111人。	A:実施した	【自転車安全利用講習会】 自転車利用のルール、マナー向上を図ることを目的に「自転車安全利用講習会」を4回実施した。参加者124人。	総務部
				A:実施した	放置自転車の指導・警告・撤去を平日毎日、土日祝日も月2回程度行った。	A:実施した	放置自転車の指導・警告・撤去を平日毎日、土日祝日も月2回程度行った。	A:実施した	放置自転車の指導・警告・撤去を平日毎日、土日祝日も月2回程度行った。	都市基盤部
	1	1	中野区無電柱化推進計画を策定し、計画的に無電柱化を進めます。	A:実施した	・中野区無電柱化推進計画の策定 ・区道14-910ほか設計	A:実施した	・区道14-910本体工事着手 ・区道14-880ほか試掘調査、設計	A:実施した	・区道14-910本体工事推進 ・区道14-880設計検討 ・区道14-940公益財団法人東京都道路整備保全公社との施行協定を締結	都市基盤部
	1	2 安全で快適に利用できる公園の整備								
	1	2	園路改修、だれでもトイレへの改修、遊具の更新など、既存公園の再整備を計画的に進め、公園の利便性・快適性と魅力を高めます。また、公園が安全で快適に利用できるようルールづくりを進めます。	A:実施した	東京都ユニバーサルデザインのまちづくり実施要綱に基づく補助金を活用し、公園のトイレ及び園路等を含むバリアフリー化を実施した(新井薬師公園)。	A:実施した	東京都ユニバーサルデザインのまちづくり実施要綱に基づく補助金を活用し、公園のトイレ及び園路等を含むバリアフリー化を行った(桜山公園、江原公園)。*工事は、2021年6月完了 ・ユニバーサルデザインに配慮した遊具の更新を行った(新井薬師公園、城山公園)。	A:実施した	東京都ユニバーサルデザインのまちづくり実施要綱に基づく補助金を活用し、公園のトイレ及び園路等を含むバリアフリー化を行った(桜山公園、江原公園)。*工事は、2021年6月完了 ・ユニバーサルデザインに配慮した遊具の更新を行った(弥生公園、八成功園)。	都市基盤部
	2 円滑に移動できる交通環境づくり									
	2 1 わかりやすい案内表示の充実									
	2	1	区民の日常的な移動や活動、国内外からの来街者の利便性の向上を図るため、多言語化、ピクトグラムの活用等について、基本的な考え方などを定めた公共サインガイドラインを策定し、順次、公共サインの整備を進めます。	A:実施した	公共サインガイドラインに基づき、施設名の多言語化及び二次元コードを掲載したサインにリニューアルした。	A:実施した	施設の新規開設(キリンレモンスポーツセンター)に伴い、サインの表示を変更した。	A:実施した	施設の新規開設(みらいステップなかの、中野東中学校)に伴い、サインの表示を変更した。	企画部
	2 2 区内を円滑に移動できる交通サービスの検討									
	2	2	交通弱者等が区内を円滑に移動できる環境整備の方向性を検討するために実施した基礎調査の結果をもとに、区内の交通サービスのあり方を検討します。	A:実施した	業務委託を実施し、交通サービスのあり方を検討した。	A:実施した	業務委託を実施し、2021年度以降の事業の進め方について検討した。	A:実施した	新たな公共交通サービスの実証実験運行に向けて地域勉強会の設置やアンケート調査を実施し、地域における需要や意向の把握及び運行ルート等の検討を行い、事業に関する協定締結候補者として運行事業者を選定した。	都市基盤部
	2 3 交通事業者と連携したまちづくり									
	2	3	交通事業者や東京都などと調整・連携等しながら、ユニバーサルデザインに配慮した、駅周辺の交通広場の整備などを進めます。	A:実施した	将来管理者として、まちづくり推進部と協議や助言を行った。	A:実施した	将来管理者として、まちづくり推進部と協議や助言を行った。	A:実施した	将来管理者として、まちづくり推進部と協議や助言を行った。	都市基盤部
				A:実施した	都市計画道路の整備に向け、道路予備設計を実施し道路や交通広場構造等を検討した。	A:実施した	東京都や西武鉄道との進捗管理会議を通じ、交通広場整備に向けて、事業に関する情報共有を図った。	A:実施した	東京都や西武鉄道との進捗管理会議を通じ、交通広場整備に向けて、事業に関する情報共有を図った。	まちづくり推進部
				A:実施した	中野駅周辺においては、ユニバーサルデザインに配慮した、駅前広場の計画検討及び設計を進めた(南口駅前広場、西口広場、新北口駅前広場)。	A:実施した	中野駅周辺においては、ユニバーサルデザインに配慮した、駅前広場の計画検討及び設計を進めた(南口駅前広場、西口広場、新北口駅前広場)。	A:実施した	中野駅周辺においては、ユニバーサルデザインに配慮した、駅前広場の計画検討及び設計を進めた(南口駅前広場、西口広場、新北口駅前広場)。	まちづくり推進部
	2	3	工事中も全ての人が安全・快適に利用できるよう配慮して工事を進めます。	A:実施した	将来管理者として、まちづくり推進部と協議や助言を行った。	A:実施した	将来管理者として、まちづくり推進部と協議や助言を行った。	A:実施した	将来管理者として、まちづくり推進部と協議や助言を行った。	都市基盤部
				A:実施した	都市計画道路等の用地管理工事において、安全な歩行者動線を確保した整備を実施した。	A:実施した	都市計画道路等の用地管理工事において、安全な歩行者動線を確保した整備を実施した。	A:実施した	都市計画道路等の用地管理工事において、安全な歩行者動線を確保した整備を実施した。	まちづくり推進部
				A:実施した	現場において、監視員・誘導員を配置するなど、利用者の安全・快適に配慮しながら工事を進めた。	A:実施した	現場において、監視員・誘導員を配置するなど、利用者の安全・快適に配慮しながら工事を進めた。	A:実施した	現場において、監視員・誘導員を配置するなど、利用者の安全・快適に配慮しながら工事を進めた。	まちづくり推進部
	2 4 利用しやすい駐車場・自転車駐車場の整備									
	2	4	全ての人が利用しやすいよう配慮した自転車駐車場の整備を進めます。	A:実施した	区営自転車駐車場で、障害者や特殊車両等の利用者のため、平置きスペースの確保に務めた。	A:実施した	区営自転車駐車場で、障害者や特殊車両等の利用者のため、平置きスペースの確保に務めた。	A:実施した	自転車駐車場の新設、増設の際、障害者や特殊車両等の利用者のため、平置きスペースの確保に務めた。	都市基盤部
			A:実施した	各地区のまちづくりにあわせ、駐輪形式や利用者動線など、利便性に配慮した自転車駐車場の整備に向け、計画検討を進めた。	A:実施した	各地区のまちづくりにあわせ、駐輪形式や利用者動線など、利便性に配慮した自転車駐車場の整備に向け、計画検討を進めた。	A:実施した	各地区のまちづくりにあわせ、駐輪形式や利用者動線など、利便性に配慮した自転車駐車場の整備に向け、計画検討を進めた。	まちづくり推進部	
2	4	「障害者等駐車区画の適正利用に向けたガイドライン」(東京都)に基づく駐車場の整備を促進します。	-:評価不能(隔年実施、事業終了など)	特定路外駐車場の設置の際に車椅子使用者用駐車場の設置が義務づけられているが、対象の届出はなかった。	A:実施した	ホームページ及び窓口でガイドラインに基づくリーフレット掲示し周知を行った。	A:実施した	窓口でガイドラインに基づくリーフレットを置くなど周知を行った。	都市基盤部	
			A:実施した	各地区のまちづくりにあわせて、ガイドラインに基づく駐車場の整備に向け、計画検討を進めた。	A:実施した	各地区のまちづくりにあわせて、ガイドラインに基づく駐車場の整備に向け、計画検討を進めた。	A:実施した	各地区のまちづくりにあわせて、ガイドラインに基づく駐車場の整備に向け、計画検討を進めた。	まちづくり推進部	

基本理念	施策の方向	主な取組	2019年度の取組実績		2020年度の取組実績		2021年度の取組実績		現所管部
3 利用しやすい配慮された区有施設づくり									
3 1 区有施設の整備・改修の基本的な考え方の策定									
3	1	区有施設は、「都立建築物のユニバーサルデザイン導入ガイドライン」(東京都)に基づき整備を進めてきましたが、トイレなど、建物の用途や利用者の状況等により特に配慮が必要な設備等については、区としての基本的な考え方を別途定め、整備や改修を進めます。	C:検討中(実施時期未定)	中野区区有施設整備計画の策定に向け、各種検討を進めた。	B:実施できなかったが、次年度実施予定	中野区区有施設整備計画(素案)を作成し、区有施設の再編及び更新・保全の基本方針において、ユニバーサルデザインへの対応、バリアフリー改修について考え方を整理した。	A:実施した	中野区区有施設整備計画を2021年10月に策定し、区有施設の再編及び更新・保全の基本方針において、ユニバーサルデザインへの対応、バリアフリー改修について考え方を整理した。	企画部
			A:実施した	新築の設計用に、利用者が使いやすい施設を目指し、ユニバーサルデザイン等を含めた設計条件要求仕様書を作成した。	A:実施した	施設の使用状況を確認し、改善すべき点について設計条件要求仕様書の更新を行った。	A:実施した	施設の使用状況を確認し、改善すべき点について設計条件要求仕様書の更新を行った。	総務部
			-:評価不能(隔年実施、事業終了など)	該当案件なし	-:評価不能(隔年実施、事業終了など)	企画部等から協議依頼があったときに部内取りまとめを行う。	A:実施した	トイレの整備や改修を進めるため、ユニバーサルデザインのまちづくり緊急推進事業補助金(都補助金)について庁内に周知し、申請等のとりまとめを行った。	健康福祉部
			A:実施した	・基本的な考え方等は別途定めず、課の職員が施設に出向き、各施設毎の課題点及び工事が必要な箇所を判断の上、整備実施。 ・施設職員とも連携をとり、整備・改修を進めた。	A:実施した	・基本的な考え方等は別途定めず、課の職員が施設に出向き、各施設毎の課題点及び工事が必要な箇所を判断の上、整備実施。 ・施設職員とも連携をとり、整備・改修を進めた。	A:実施した	・基本的な考え方等は別途定めず、課の職員が施設に出向き、各施設毎の課題点及び工事が必要な箇所を判断の上、整備実施。 ・施設職員とも連携をとり、整備・改修を進めた。	子ども教育部
			A:実施した	・中野区立小中学校施設整備計画に基づく整備実施 ・トイレ洋式化工事の実施	A:実施した	・中野区立小中学校施設整備計画に基づく整備実施 ・中野区立小中学校施設整備計画(改定版)への取組 ・トイレ洋式化工事の実施	A:実施した	・中野区立小中学校施設整備計画(改定版)の作成 ・中野区立小中学校施設整備計画(改定版)に基づく整備実施 ・トイレ洋式化工事の実施	教育委員会事務局
3	1	整備・改修した施設の事後検証を実施します。	A:実施した	トイレ洋式化工事のしゅん工後、利用者の使用状況を確認を行った。	A:実施した	3施設の新築工事のしゅん工後、利用者の使用状況を確認した。	A:実施した	3施設の新築工事のしゅん工後、利用者の使用状況を確認した。	総務部
			A:実施した	改修施設等への定期的な訪問による検証	A:実施した	改修施設等への定期的な訪問による検証	A:実施した	改修施設等への定期的な訪問による検証	子ども教育部
			A:実施した	改修施設等への定期的な訪問による検証	A:実施した	改修施設等への定期的な訪問による検証	A:実施した	改修施設等への定期的な訪問による検証	教育委員会事務局
3 2 利用しやすい区有施設の整備・改修									
3	2	区有施設や小中学校の整備・改修は、「都立建築物のユニバーサルデザイン導入ガイドライン」(東京都)を踏まえ、区が定める区有施設の整備・改修の基本的な考え方に沿って整備を進めます。	A:実施した	設計条件要求仕様書を基に2施設の新築の実施設計を行った。	A:実施した	設計条件要求仕様書を基に、また改善すべき点を踏まえ、4施設の新築の実施設計を行った。	A:実施した	設計条件要求仕様書を基に、また改善すべき点を踏まえ、4施設の新築の実施設計を行った。	総務部
			A:実施した	区立保育園・幼稚園各施設毎の課題点を解消する改修工事を実施した。	A:実施した	区立保育園・幼稚園各施設毎の課題点を解消する改修工事を実施した。	A:実施した	区立保育園・幼稚園各施設毎の課題点を解消する改修工事を実施した。	子ども教育部
			A:実施した	中野区立小中学校施設整備計画に基づく新校舎整備の実施(設計及び工事)	A:実施した	・中野区立小中学校施設整備計画に基づく新校舎整備の実施(設計及び工事) ・新校舎使用開始(美鳩小、みなみの小)	A:実施した	・中野区立小中学校施設整備計画(改定版)に基づく新校舎整備の実施(設計及び工事) ・新校舎使用開始(中野第一小学校、中野東中学校)	教育委員会事務局
			-	-	-	-	-	-	各部
3	2	施設整備・改修に伴って、備品などユニバーサルデザインの視点で配慮された商品の活用を進めます。	A:実施した	(区民部) 【もみじ山文化センター】 ・車イス購入 ・施設案内表示多言語化	A:実施した	(区民部) 【もみじ山文化センター】 ・西館トイレ スティックラバー(杖置き)設置	A:実施した	(区民部) なかのZEROトイレのベビーシート、ベビーカーの更新(計4か所)	各部
4 利用しやすい配慮された民間施設・住宅づくり									
4 1 利用しやすい民間施設の誘導・整備の支援									
4	1	中野区バリアフリー基本構想の「重点整備地区における施設別のバリアフリー化の方針」に基づき障害者や高齢者をはじめ全ての人が使いやすいよう配慮された施設の誘導を進めます。	A:実施した	・中野区バリアフリー基本構想の「特定事業」について進捗調査を行った。また、調査結果をまとめ、中野区のHPにて公開した。 ・東京都の「ユニバーサルデザインのまちづくり緊急推進事業要綱」の対象事業である「ユニバーサルデザインのまちづくり住民参加推進事業」にて、公園及び付属するトイレの改修を行うためのまちあるき点検業務を遂行した。	A:実施した	中野区バリアフリー基本構想の「特定事業」について、進捗調査を行った。また、調査結果をまとめ、中野区のHPにて公開した。	A:実施した	中野区バリアフリー基本構想の「特定事業」について、進捗調査を行った。また、調査結果をまとめ、中野区のHPにて公開した。	都市基盤部
			D:未着手(検討していない)		A:実施した	西武新宿線(中井駅～野方駅間)連続立体交差事業の事業期間が延長されたが、今後も都(事業主体)・西武鉄道と連携し、事業を早期に実現できるよう取り組んでいく。	A:実施した	西武新宿線(中井駅～野方駅間)連続立体交差事業の事業期間が延長されたが、今後も都(事業主体)・西武鉄道と連携し、事業を早期に実現できるよう取り組んでいく。	まちづくり推進部
			A:実施した	中野駅のバリアフリー化に向け、西側南北通路・橋上駅舎の整備を進めた。	A:実施した	中野駅のバリアフリー化に向け、西側南北通路・橋上駅舎の整備を進めた。	A:実施した	中野駅のバリアフリー化に向け、西側南北通路・橋上駅舎の整備を進めた。	まちづくり推進部
4	1	中野区福祉のまちづくりのための環境整備要綱に基づき、小規模施設の整備・改善を誘導します。	A:実施した	東京都福祉のまちづくり条例施行規則の改正により整備基準等が変更されたため、要綱の改正を行った。	A:実施した	バリアフリー法の改正により号すれが生じたため、要綱の改正を行った。	A:実施した	東京都福祉のまちづくり条例施行規則の改正に伴い、要綱の改正を行った。	健康福祉部
			A:実施した	東京都福祉のまちづくり条例の施設整備基準に適合するよう、区内の新築・改修工事の審査を38件行った。	A:実施した	東京都福祉のまちづくり条例の施設整備基準に適合するよう、区内の新築・改修工事の審査を22件行った。	A:実施した	東京都福祉のまちづくり条例の施設整備基準に適合するよう、区内の新築・改修工事の審査を22件行った。	都市基盤部
4	1	だれでもトイレ設置、障害者・高齢者用サイン表示、授乳・おむつ替え等スペースの設置などの事業について、商店街に周知・情報提供を行い、事業を誘導します。	A:実施した	事業実施主体である区内全商店街に補助制度の案内(マニュアル)を配布し、PRを行った。	A:実施した	事業実施主体である区内全商店街に補助制度の案内(マニュアル)を配布し、PRを行った。	A:実施した	事業実施主体である区内全商店街に補助制度の案内(マニュアル)を配布し、PRを行った。	区民部
4	1	公衆浴場の改修(バリアフリー化等)に必要な経費の一部を補助します。	A:実施した	公衆浴場設備改善資金助成金を13浴場に、はつらつ事業施設改修費補助金を1浴場に助成し、区民の誰もが利用しやすい公衆浴場の利用機会の確保と公衆衛生向上及び健康増進に寄与した。	A:実施した	公衆浴場設備改善資金助成金を14浴場に、健康増進型公衆浴場改修等助成金を1浴場に助成し、区民の誰もが利用しやすい公衆浴場の安全な利用機会の確保と公衆衛生向上及び健康増進に寄与した。	A:実施した	公衆浴場設備改善資金助成金を13浴場に、健康増進型公衆浴場改修等助成金を2浴場に助成し、区民の誰もが利用しやすい公衆浴場の安全な利用機会の確保と公衆衛生向上及び健康増進に寄与した。	健康福祉部

基本理念	施策の方向	主な取組	2019年度の取組実績	2020年度の取組実績	2021年度の取組実績	現所管部	
	4	2	快適に暮らせる住宅の誘導・整備の支援				
	4	2	高齢者等が安心して暮らしていけるよう、サービス付高齢者向け住宅を整備・誘導するとともに、東京シニア円滑入居賃貸住宅の登録促進を図っていきます。	A:実施した 【サービス付高齢者向け住宅】 2014年度～2018年度にかけて、区内4ヶ所に整備・誘導済み。 【東京シニア円滑入居賃貸住宅】 登録数 1,740戸	A:実施した 【サービス付高齢者向け住宅】 2019年度から変更なし 【東京シニア円滑入居賃貸住宅】 本制度は、2020年3月末をもって制度終了となった。2020年度より類似制度である「住宅セーフティネット制度」へ移行した。(2020年度末の登録数は585戸)	A:実施した 【サービス付高齢者向け住宅】 ・サービス付き高齢者向け住宅の整備を検討している事業者の相談に応じた。 ・住み替え相談において、相談者の状況に応じてサービス付き高齢者向け住宅の情報提供を行った。 【東京シニア円滑入居賃貸住宅】 本制度は、2020年3月末をもって制度終了となった。2020年度からは類似制度である「住宅セーフティネット制度」へ移行した。(2021年度末の登録数は622戸)	都市基盤部
	4	2	高齢者等の住宅確保と木造賃貸住宅のバリアフリー化促進のための大家さん向けのセミナーを実施します。	A:実施した 不動産事業者と賃貸物件オーナーを対象に、12月6日(金)に中野区と居住支援法人の共催で開催。住宅セーフティネット制度の周知、高齢化社会における賃貸住宅市場の状況、今後求められるセーフティネット等の他、賃貸住宅のバリアフリー化も含めた今後の居住支援の取組のあり方等についてそれぞれ講師による講演を行った。	A:実施した 居住支援協議会の設立準備として、高齢者を含む住宅確保要配慮者への民間賃貸住宅への入居支援の必要性など、国土交通省の支援を受け、住宅部門、福祉部門の関係団体や職員向けに勉強会を2回開催した。	A:実施した 居住支援協議会の運営を支援し、連携して高齢者等の住宅確保要配慮者及び民間賃貸住宅オーナー等に対する居住支援制度等の情報提供やセーフティネット住宅の普及啓発を行った。	都市基盤部
	4	2	空家等対策基本計画を策定し、計画に基づく空家等関連事業や(仮称)住まい対策推進協議会による住まいの総合相談事業を実施します。	C:検討中(実施時期未定)	B:実施できなかったが、次年度実施予定 空き家予防のための相談窓口事業の検討を行った。	A:実施した ・民間団体と連携し、法律や不動産活用、建物の改修等の専門的な内容に対応可能な空き家電話相談窓口を開設した。 ・居住支援協議会や民間団体等と連携し、住まいに関する相談会やセミナーを実施した。	都市基盤部
ソフト	5	利用しやすくわかりやすい区のサービスづくり					
	5	1	全ての人が円滑に利用できるサービス・事業の充実				
	5	1	区が提供する各種サービス・事業について、手話通訳やタブレット端末による多言語通訳・翻訳の活用を進めるほか、案内方法、申込み手続やサービスの提供方法・窓口の環境等の点検・見直し・改善を進めます。	A:実施した 【行政サービス総点検】 窓口環境のユニバーサルデザインについて全庁的に調査をし、点検を行った。また、中野区改善運動「ちよこつと改善提案」と連携し、上記点検結果の改善を各課に促した。	A:実施した 【行政サービス総点検】 すべての人にとってわかりやすいサービスの提供のために、申請書類や案内書類について全庁的に調査をし、点検を行った。また、中野区改善運動「ちよこつと改善提案」と連携し、上記点検結果の改善を各課に促した。	B:実施できなかったが、次年度実施予定	企画部
	5	1	申請書類等の様式や記入要領・記入例などが全ての人にとって見やすくわかりやすいものとなるよう点検・見直し・改善を進めます。	A:実施した (地域支えあい推進部) 聴覚や、発語に障害のある方向けに、コミュニケーションボード(磁気ボード)を用意した。 (環境部) ・審議会、子ども向け啓発事業に手話通訳対応の予算措置を行っている。 ・区民に対して書類の記載を求める場合等については、今後も職員がマンツーマンで対応するよう努めていく。 (選挙管理委員会事務局) 筆談用のボードを窓口を設置し、申込み手続の利便性向上に努めた。	A:実施した (区民部) 庁内窓口をはじめ、庁外窓口や区立学校へAI多言語通訳システムを導入した。	A:実施した (区民部) 2020年度より導入したAI多言語通訳システムについて、職員が利用しやすいよう運用を見直した。 (選挙管理委員会事務局) 筆談用のボードを窓口を設置し、申込み手続等の利便性向上に努めた。また新型コロナウイルスの飛沫感染防止のため、窓口にアクリル板を設置している。	各部
	5	1	申請書類等の様式や記入要領・記入例などが全ての人にとって見やすくわかりやすいものとなるよう点検・見直し・改善を進めます。	A:実施した 【申請書・証明書等における性別記載の点検】 区民に提出を求める申請書等及び区民に交付する証明書等のうち、性別の記載を求めている書類を調査対象とする。性別記載の必要性の有無、削除・見直しの可否について調査及び点検を行った。	A:実施した 【申請書・証明書等における性別記載の点検】 2019年度と同様の点検を行う。 【行政サービス総点検】 使用している申請書等の書類がユニバーサルデザインであるか点検を行った。また、中野区改善運動「ちよこつと改善提案」と連携し、上記点検結果の改善を各課に促した。	A:実施した 【申請書・証明書等における性別記載の点検】 前年度と同様に点検を行う。	企画部
	5	1	申請書類等の様式や記入要領・記入例などが全ての人にとって見やすくわかりやすいものとなるよう点検・見直し・改善を進めます。	A:実施した (地域支えあい推進部) 申請書や、区民・事業者向けの書類をわかりやすくするよう見直しを図った。	A:実施した (選挙管理委員会事務局) 見直しの結果、申請書に記入例がないものが判明したので、記入例を作成した。	A:実施した (区民部) ・「施設利用者登録申込書」の書き方見本を窓口を設置した(ZERO本館)。 ・「施設利用者登録申込用紙」にルビをつけた用紙を使用している(ZERO本館)。 (選挙管理委員会事務局) 申請書の記入について、よりわかりやすいように修正した。	各部
	5	1	いつでもどこでも必要な行政サービスの手続ができるよう電子申請手続の拡大やスマートフォン対応などを進めます。	A:実施した 行政手続における電子申請の利用割合:62.2%	A:実施した 行政手続における電子申請の利用割合:59.2%	A:実施した 行政手続における電子申請の利用割合:69.5%	総務部
	5	1	いつでもどこでも必要な行政サービスの手続ができるよう電子申請手続の拡大やスマートフォン対応などを進めます。	A:実施した (地域支えあい推進部) 地域活動コーディネーター養成講座の参加申し込み及び、公益活動団体の取組における寄付を電子申請でも受け付けた。 (環境部) 電子申請ができる事業については、見直しを検討した。ただし、公害対策関連の申請添付書類は、数と量が電子申請に不適当。	A:実施した (環境部) 現行では公害対策関連の電子申請は適さないが、メール申請を始めた自治体の運用などの情報を収集し、採用するか検討した。 高断熱建築認証制度の電子申請を追加した。	A:実施した (選挙管理委員会事務局) すでに電子申請ができる手続は電子申請手続が可能となっている。	各部
	5	1	区の窓口や施設等で区民が利用する机・椅子等の備品、文房具等について、ユニバーサルデザインの視点で配慮された商品の活用を進めます。	A:実施した 【行政サービス総点検】 窓口環境のユニバーサルデザインについて全庁的に調査をし、点検を行った。また、中野区改善運動「ちよこつと改善提案」と連携し、上記点検結果の改善を各課に促した。	A:実施した 【行政サービス総点検】 すべての人にとってわかりやすいサービスの提供のために、申請書類や案内書類について全庁的に調査をし、点検を行った。また、中野区改善運動「ちよこつと改善提案」と連携し、上記点検結果の改善を各課に促した。	A:実施した 【ユニバーサルデザインパネル展】 ・ユニバーサルデザインやユニバーサルデザインの視点で配慮された商品について広く理解を得るため、中野区役所ロビー及び中野駅ガード下ギャラリーにて普及啓発を行った。 ・ユニバーサルデザイン製品を展示した。	企画部
	5	1	区の窓口や施設等で区民が利用する机・椅子等の備品、文房具等について、ユニバーサルデザインの視点で配慮された商品の活用を進めます。	A:実施した (環境部) 適宜見直し、改善を行った。	A:実施した (環境部) 申請窓口にローカウンターを追加整備した。	—	各部
	5	2	災害時の迅速な情報提供と要支援者への配慮				
	5	2	迅速かつ確実に情報が伝わるよう、多様な手法・手段による災害情報の発信を進めます。避難所単位で避難行動要支援者名簿を作成するとともに、災害時個別避難支援計画書の作成・更新を進め、避難支援や避難所運営において、要支援者の状況に応じた必要な支援や対応を進めます。	A:実施した 【災害時個別避難支援計画書実績】 令和元年度末 調査対象者34,891人 調査修了者31,318人 計画作成者14,173人	A:実施した 【災害時個別避難支援計画書実績】 令和2年度末 調査対象者35,436人 調査修了者31,909人 計画作成者15,501人	A:実施した 【災害時個別避難支援計画書実績】 令和3年度末 調査対象者35,874人 調査修了者33,360人 計画作成者16,644人	地域支えあい推進部
	5	2	迅速かつ確実に情報が伝わるよう、多様な手法・手段による災害情報の発信を進めます。避難所単位で避難行動要支援者名簿を作成するとともに、災害時個別避難支援計画書の作成・更新を進め、避難支援や避難所運営において、要支援者の状況に応じた必要な支援や対応を進めます。	A:実施した 防災行政無線の屋外拡声子局の戸別受信機を要配慮者施設へ設置(9施設)	A:実施した ・防災行政無線の屋外拡声子局の戸別受信機を要配慮者施設へ設置(12施設) ・ハザードマップの多言語化を実施	A:実施した ・防災行政無線の屋外拡声子局の戸別受信機を要配慮者施設へ設置(11施設) ・ハザードマップの多言語化を実施	総務部

基本理念	施策の方向	主な取組	2019年度の取組実績		2020年度の取組実績		2021年度の取組実績		現所管部		
	5	3	ユニバーサルデザインに配慮した計画の策定								
	5	3	A:実施した	ユニバーサルフォントの活用などにより見やすさに配慮した。音声コード対応は、今後も検討を続ける。	A:実施した	ユニバーサルフォントの活用などにより見やすさに配慮した。音声コード対応は、今後も検討を続ける。	A:実施した	ユニバーサルフォントの活用などにより見やすさに配慮した。音声コード対応は、今後も検討を続ける。	企画部		
			A:実施した	(地域支えあい推進部)「中野区再犯防止推進計画」の策定に向け、わかりやすい概要版や音声コードの導入についても検討した。	A:実施した	(地域支えあい推進部)「中野区再犯防止推進計画」概要版を作成し、全ての漢字にフリガナを付けたほか、音声コードも導入した	A:実施した	(区民部)中野区生涯学習スポーツ情報紙「ないせす」において、音声版である「声のないせす」を視覚障害者向けに発行している。	各部		
	6	地域で気軽に楽しく学べる場づくり									
	6	1	スポーツ・健康づくりを楽しめる環境の拡充								
	6	1	A:実施した	中部及び南部に加え、鷲宮にスポーツ・コミュニティプラザを開設し、年代、性別、障害の有無を問わず、スポーツに取り組めるよう事業を展開した。	A:実施した	平和の森公園内に中野区立総合体育館を開設し、多様で幅広い世代の区民が、スポーツや健康づくりを楽しめる環境を整備した。	A:実施した	各スポーツ施設等において、多様で幅広い世代の区民が、スポーツや健康づくりを楽しめる教室事業やイベント等を実施した。	健康福祉部		
	6	1	A:実施した	【なかの元気アップ体操ひろば】週1回1時間程度、民間施設6箇所 延5,507人が参加 【住民主体サービス実施団体】 ・通所型-19団体 ・訪問型-2団体	A:実施した	新型コロナウイルスの感染拡大により休止及び実施内容を一部変更して実施 【なかの元気アップ体操ひろば】週1回30分の入替制、民間施設6箇所のほか、オンラインでも実施。延2,364人が参加 【住民主体サービス実施団体】 ・通所型-18団体 ・訪問型-2団体	A:実施した	【なかの元気アップ体操ひろば】週1回30分の前後半入替制、民間施設6箇所のほか、オンラインでも実施。新型コロナウイルス感染症の影響により会場開催ができない場合も代替としてオンラインで実施。延3,677人が参加 【住民主体サービス実施団体】 ・通所型-18団体 ・訪問型-2団体	地域支えあい推進部		
	6	2	全ての人が学べる環境の拡充								
	6	2	A:実施した	歴史民俗資料館は、常設展示等を更新し多言語化などを進めるとともに、トイレを改修し、誰でも楽しく学べる場としての環境を整備します。	-:評価不能(隔年実施、事業終了など)	-	-:評価不能(隔年実施、事業終了など)	-	区民部		
	6	2	A:実施した	・区民活動センターにおいて、各種事業を実施し、仲間とともに学び、交流する機会を提供した。 ・安全で快適に利用できる高齢者会館となるよう、トイレの洋式化等の改修を行った(高齢者会館 1か所)。	A:実施した	・区民活動センターにおいて、各種事業を実施し、仲間とともに学び、交流する機会を提供した。 ・安全で快適に利用できる高齢者会館となるよう、トイレの洋式化等の改修を行った(高齢者会館2か所。その他、高齢者施設2か所においてもトイレ改修工事を行った)。	A:実施した	・区民活動センターにおいて、各種事業を実施し、仲間とともに学び、交流する機会を提供した。 ・高齢者会館において、各種事業を実施し、仲間とともに学び、交流する機会を提供した。	地域支えあい推進部		
	6	2	A:実施した	【なかのZERO】 ・「9/8コハーン・イシュトバーン クラリネットリサイタル」都内在住ひとり親世帯 21名ご招待 ・「10/4上原彩子 ピアノリサイタル」都内在住ひとり親世帯 34名ご招待	A:実施した	【なかのZERO】 6/20「エバ・ルカ」魔法の笛と鈴(区内小学校支援学級との連携)新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より公演中止	A:実施した	社会福祉法人愛成会となかのZERO指定管理者の共催により、障害者をはじめとしたさまざまな人が芸術に親しみ、交流するワークショップ・展覧会事業「アトリエpangaea(パンゲア)」の一環として、同事業の作品展覧会を実施した。	区民部		
			D:未着手(検討していない)		A:実施した	みなみの・美鳩・中野第一小学校内に地域開放型学校図書館の開設準備を行った。	A:実施した	4月にみなみの・美鳩・中野第一小学校内に地域開放型学校図書館の開設し、利用状況等の検証を行った。	教育委員会事務局		
	7	地域における利用しやすいサービス・商品づくり									
	7	1	便利で魅力ある商店街の整備								
	7	1	A:実施した	多言語に対応したホームページやマップの作成、ハラール対応など、商店街・地域連携による国際化対応事業を支援するほか、商店街へのたれでもトイレ設置、障害者・高齢者用のサイン表示や案内表示の設置・改修、授乳・おむつ替え等スペース設置などの事業を誘導します。	A:実施した	以下の事業(1件)を行った。 (1)多言語ホームページ制作(鍋橋大通商店会)	A:実施した	以下の事業(3件)を行った。 (1)多言語ホームページ(中野北口十字路商店会) (2)「サイン・ヒストリー作成・貼付」街路灯プロジェクト(中野北口昭和新道商店街) (3)館内案内ウォールステッカー(中野ブロードウェイ商店街振興組合) ※(2)は商店街の24本の街路灯に、商店街のヒストリーや案内サインを多言語化して表記した。 ※(3)は、商店街の館内案内を多言語化した。	A:実施した	区内全商店街に補助制度の案内(マニュアル)を配布し、国際課事業への補助について案内を行った。	区民部
	7	2	ユニバーサルデザインに資する事業創出の支援								
	7	2	A:実施した	区内で起業を目指す方や新たな事業展開を考えている事業者に対するセミナーや相談など創業支援の取組の一環として、全ての人が利用しやすいサービス・商品を生み出す事業が創出されるよう支援します。	A:実施した	女性の再就職を支援するためのセミナーを産業振興センターで実施した。	A:実施した	女性の再就職を支援するためのセミナーを産業振興センターで実施した。	A:実施した	女性の再就職を支援するためのセミナーを産業振興センターで実施した。	区民部
	7	3	地域のサービス提供のユニバーサルデザイン化への支援								
	7	3	A:実施した	【ユニバーサルデザインパネル展】ユニバーサルデザインについて広く理解を得るため、区役所ロビーにおいて普及啓発を行った。	A:実施した	【ユニバーサルデザインパネル展】ユニバーサルデザインについて広く理解を得るため、区民が多く通行する中野駅ガード下ギャラリーにて普及啓発を行った。	A:実施した	【ユニバーサルデザインパネル展】ユニバーサルデザインについて広く理解を得るため、中野区役所ロビー及び中野駅ガード下ギャラリーにて普及啓発を行った。 ・ユニバーサルデザイン製品を展示した。	企画部		
			A:実施した	・区民活動センターにおいて、各種事業を実施し、仲間とともに学び、交流する機会を提供した。 ・安全で快適に利用できる高齢者会館となるよう、トイレの洋式化等の改修を行った(高齢者会館 1か所)。	A:実施した	・区民活動センターにおいて、各種事業を実施し、仲間とともに学び、交流する機会を提供した。 ・安全で快適に利用できる高齢者会館となるよう、トイレの洋式化等の改修を行った(高齢者会館2か所。その他、高齢者施設2か所においてもトイレ改修工事を行った)。	A:実施した	・区民活動センターにおいて、各種事業を実施し、仲間とともに学び、交流する機会を提供した。 ・高齢者会館において、各種事業を実施し、仲間とともに学び、交流する機会を提供した。	地域支えあい推進部		

基本理念	施策の方向	主な取組	2019年度の取組実績		2020年度の取組実績		2021年度の取組実績		現所管部	
	8	わかりやすい情報を簡単に得られる環境づくり								
	8	1 ICTを活用した区政情報等の発信								
	8	1	Nakano Free Wi-Fi サービス等を活用し、多様な方法で効果的な情報発信を進めます。	A:実施した	Nakano Free Wi-Fiと連動した地域情報サービスで、多言語によるエリア情報を提供している。	A:実施した	Nakano Free Wi-Fiと連動した地域情報サービスで、多言語によるエリア情報を提供している。	A:実施した	Nakano Free Wi-Fiと連動した地域情報サービスで、多言語によるエリア情報を提供している。	企画部
	8	1	区が保有している行政データを二次元利用可能なオープンデータとして公開し、簡単にデータ検索や入手が行える環境の整備を進めます。	A:実施した	・オープンデータの取り組み開始等 ・年度末時点オープンデータ公開数:19件	A:実施した	・オープンデータ公開数の拡充に向けた取り組み等 ・年度末時点オープンデータ公開数:39件	A:実施した	・オープンデータ公開数の拡充に向けた取り組み等 ・2021年度末時点オープンデータ公開数:46件(2020年度から8件増加、1件削除)	総務部
	8	1	インターネットを活用し、過去から現在までの一定の区政情報を閲覧できる区政情報の閲覧室を構築し、運営を行います。	A:実施した	オープンデータの推進に合わせ、区ホームページを中心とした区政情報の発信について検討した。	A:実施した	オープンデータの推進に合わせ、区ホームページを中心とした区政情報の発信について検討した。	A:実施した	ホームページや新たなデジタルツールによって提供される情報が、誰にでも探しやすいよう整備することを前提に区ホームページの全面リニューアルに向け、必要な機能の検討を進めた。	企画部
	8	2 地域のユニバーサルデザイン情報の発信								
	8	2	障害等の有無にかかわらず全ての人の外出を支援し、社会参加を進めるため、区のホームページで情報提供する「バリアフリーマップ」や「赤ちゃんほっとスペース」などで、区内のだれでもトイレ、スロープ、エレベーター、点字や音声案内、おむつ替え等スペースなどの情報をわかりやすく提供します。	A:実施した	区ホームページに掲載している「なかの便利地図」で「バリアフリーマップ」や「赤ちゃんほっとスペース」などの情報を提供した。	A:実施した	区ホームページに掲載している「なかの便利地図」で「バリアフリーマップ」や「赤ちゃんほっとスペース」などの情報を提供した。	A:実施した	区ホームページに掲載している「なかの便利地図」で「バリアフリーマップ」や「赤ちゃんほっとスペース」などの情報を提供した。	企画部
	8	2	障害等の有無にかかわらず全ての人の外出を支援し、社会参加を進めるため、区のホームページで情報提供する「バリアフリーマップ」や「赤ちゃんほっとスペース」などで、区内のだれでもトイレ、スロープ、エレベーター、点字や音声案内、おむつ替え等スペースなどの情報をわかりやすく提供します。	A:実施した	なかの便利地図「バリアフリーマップ」掲載施設(区施設:304か所、民間施設(駅、郵便局等):46か所)について、掲載情報の確認及び更新を行った。	A:実施した	なかの便利地図「バリアフリーマップ」掲載情報について確認及び更新を行った。また、公有財産簿等を参考に、未掲載施設の抽出及び調査を行い、掲載施設を追加した(区施設6か所、民間施設13か所)。	A:実施した	東京都福祉のまちづくり条例施行規則の改正に伴い、「だれでもトイレ」の表示基準について庁内の関係部署と検討を行った。	健康福祉部
	8	2	障害等の有無にかかわらず全ての人の外出を支援し、社会参加を進めるため、区のホームページで情報提供する「バリアフリーマップ」や「赤ちゃんほっとスペース」などで、区内のだれでもトイレ、スロープ、エレベーター、点字や音声案内、おむつ替え等スペースなどの情報をわかりやすく提供します。	A:実施した	所管する施設についてはバリアフリーマップに掲載済み。	A:実施した	所管する施設についてはバリアフリーマップに掲載済み。	A:実施した	所管する施設についてはバリアフリーマップに掲載済み。	地域支えあい推進部
	8	2	障害等の有無にかかわらず全ての人の外出を支援し、社会参加を進めるため、区のホームページで情報提供する「バリアフリーマップ」や「赤ちゃんほっとスペース」などで、区内のだれでもトイレ、スロープ、エレベーター、点字や音声案内、おむつ替え等スペースなどの情報をわかりやすく提供します。	A:実施した	「赤ちゃんほっとスペース」設置施設に対し、確認調査を行い、中野区ホームページ掲載情報の更新作業を行った。	A:実施した	「赤ちゃんほっとスペース」所在地等の情報を中野区ホームページに掲載し、廃止・変更の連絡を受けて随時更新を行った。	A:実施した	「赤ちゃんほっとスペース」所在地等の情報を中野区ホームページに掲載し、新規登録・廃止・変更の連絡を受けて随時更新を行った。	子ども教育部
	8	3 ユニバーサルデザインに配慮した広報物等の作成								
	8	3	全ての人の人にとって読みやすく、わかりやすい情報を発信するため、文字の大きさや配色など基本的事項を定めた情報発信のユニバーサルデザインガイドラインを策定し、ガイドラインに基づく広報物等の作成及び既存広報物等の点検、見直し・改善を進めます。	A:実施した	なかの区報をオールカラーにし、ユニバーサルデザインに配慮した文字や色を使用するなど、誰にとっても読みやすい紙面にリニューアルした。	A:実施した	広報クリニックを実施し、各課が作成する広報物(チラシ、動画)をユニバーサルデザインの観点から、見直し・改善を図った。	A:実施した	広報クリニックを実施し、各課が作成する広報物(チラシ、動画)をユニバーサルデザインの観点から、見直し・改善を図った。	企画部
	8	3	全ての人の人にとって読みやすく、わかりやすい情報を発信するため、文字の大きさや配色など基本的事項を定めた情報発信のユニバーサルデザインガイドラインを策定し、ガイドラインに基づく広報物等の作成及び既存広報物等の点検、見直し・改善を進めます。	A:実施した	(区民部) 中野区生涯学習スポーツ情報紙「ないせす」について、音声版である「声のないせす」を視覚障害者向けに発行している。 (地域支えあい推進部) 情報発信のユニバーサルデザインガイドラインに基づき、高齢者向け通知やチラシのほか、各種チラシやポスター、手引きなどの見直し・改善を進めている。 (選挙管理委員会事務局) 投票所入場整理券や選挙の案内のレイアウトについて、ユニバーサルデザインの考え基に作成した。	A:実施した	(区民部) 中野区生涯学習スポーツ情報紙「ないせす」について、音声版である「声のないせす」を視覚障害者向けに発行している。 (地域支えあい推進部) 情報発信のユニバーサルデザインガイドラインに基づき、通知やチラシのほか、各種チラシやポスター、手引きなどの見直し・改善を進めている。 (選挙管理委員会事務局) 投票所入場整理券や選挙の案内のレイアウトについて、ユニバーサルデザインの考え基に作成した。	A:実施した	(区民部) 中野区生涯学習スポーツ情報紙「ないせす」について、音声版である「声のないせす」を視覚障害者向けに発行している。 (地域支えあい推進部) 情報発信のユニバーサルデザインガイドラインに基づき、通知やチラシのほか、各種チラシやポスター、手引きなどの見直し・改善を進めている。 (選挙管理委員会事務局) 投票所入場整理券や選挙の案内のレイアウトについて、ユニバーサルデザインの考え基に作成した。	各部
	8	3	全ての人の人にとって読みやすく、わかりやすい情報を発信するため、文字の大きさや配色など基本的事項を定めた情報発信のユニバーサルデザインガイドラインを策定し、ガイドラインに基づく広報物等の作成及び既存広報物等の点検、見直し・改善を進めます。	C:検討中(実施時期未定)		A:実施した	区ホームページで、新型コロナウイルス感染症の注意喚起や相談窓口、特別定額給付金などについて「やさしい日本語」のページを作成した。	A:実施した	区ホームページで、新型コロナウイルス感染症の注意喚起や相談窓口、ワクチン接種や防災関連情報などについて「やさしい日本語」のページを作成した。	企画部
	8	3	全ての人の人にとって読みやすく、わかりやすい情報を発信するため、文字の大きさや配色など基本的事項を定めた情報発信のユニバーサルデザインガイドラインを策定し、ガイドラインに基づく広報物等の作成及び既存広報物等の点検、見直し・改善を進めます。	—	—	A:実施した	(区民部) 「外国人のためのなかの生活ガイドブック」作成 区役所での手続きや日本での生活、相談窓口等について、やさしい日本語、英語、中国語(簡体字)、ハンガルの4カ国語で併記している。	A:実施した	(区民部) 「外国人のためのなかの生活ガイドブック」作成 区役所での手続きや日本での生活、相談窓口等について、やさしい日本語、英語、中国語(簡体字)、ハンガルの4カ国語で併記している。 ・職員向けやさしい日本語研修を実施した。 (選挙管理委員会事務局) 「やさしい日本語」を使って広報物を作成・見直しを行っている。	各部

基本理念	施策の方向	主な取組	2019年度の取組実績	2020年度の取組実績	2021年度の取組実績	現所管部		
ハート	9	違いを超えて尊重しあう心を育む教育環境づくり						
	9	1 学校等におけるユニバーサルデザインの推進						
	9	1	人権教育や道徳教育をさらに充実し、違いを超えて誰もが尊重される社会を実現することができる資質・能力を育みます。	A:実施した ・道徳教育推進教師研修を年2回実施 ・人権教育研修を年2回実施 ・東京都人権尊重教育推進校として江古田小学校が研究発表を実施 ・中野区教育委員会「学校教育向上事業」において鷺宮小学校・西中野小学校・第八中学校が「自己肯定感を高める児童・生徒の育成の工夫 ～小中連携教育を通して～」という研究主題で研究発表の実施 ・中野区人権教育推進委員会による授業実践及び人権教育推進資料の作成・配布	A:実施した ・道徳教育推進教師研修を年2回実施 ・人権教育研修を年2回実施 ・中野区人権教育推進委員会による授業実践及び人権教育推進資料の作成・配布 ・初任者研修、2年次研修において特別の教科 道徳の授業力向上に向けた研修の実施	A:実施した ・道徳教育推進教師研修を年2回実施 ・人権教育研修を年2回実施 ・東京都人権尊重教育推進校として平和の森小学校が2年間の研究実践の成果を発表 ・中野区人権教育推進委員会による授業実践及び人権教育推進資料の作成・配布 ・初任者研修、2年次研修において特別の教科 道徳の授業力向上に向けた研修の実施	教育委員会事務局	
	9	1	グローバル人材を育成する教育の取組として、外国語活動及び外国語の学習を充実し、言語や他国の文化を理解し、尊重する態度を育てるとともに、自分の考えを伝えあえるコミュニケーション能力を育てます。	A:実施した ・小学校外国語活動研修を実施。	A:実施した ・英語教育研修会を年2回実施 ・英語教育アドバイザー事業を全小学校に実施 ・TOKYO GLOBAL GATEWAYへの参加補助事業を全小学校4年生に実施 ・日本英語検定受験料補助事業を全中学校3年生に実施	A:実施した ・英語教育研修会を年2回実施 ・英語教育アドバイザー事業を全小学校に実施 ・TOKYO GLOBAL GATEWAYへの参加補助事業を小学校4年生に実施(新型コロナウイルス感染症の影響で3校は2022年度に延期) ・日本英語検定受験料補助事業を全中学校3年生に実施	教育委員会事務局	
	9	1	オリンピック・パラリンピック教育の充実により、日本人としての自覚と誇りをもち、他国の文化を理解し尊重する豊かな国際感覚を身につけるとともに、障害者理解やボランティアマインドなど共生社会の実現に向けた資質・能力を育みます。また、この取組を大会のレガシーとして継続します。	A:実施した ・全幼稚園・小中学校において、オリンピック・パラリンピック教育実施計画書を作成し、教育課程に位置付けてオリンピック・パラリンピック教育を推進 ・みなみの小学校・中野中学校の2校が「オリンピック・パラリンピック教育アワード校」としてオリンピック・パラリンピック教育の推進を実施 ・桃花小学校、西中野小学校、南台小学校、みなみの小学校が「夢・未来」プロジェクト実施校としてオリンピック・パラリンピック教育の推進を実施 ・中野本郷小学校・中野第一小学校を「パラリンピック競技応援校」としてオリンピック・パラリンピック教育の推進を実施 ・第四中学校が「文化プログラム・学校連携事業」に参加し、共生社会の実現等に向けての取組を実施	A:実施した ・全幼稚園・小中学校において、オリンピック・パラリンピック教育実施計画書を作成し、教育課程に位置付けてオリンピック・パラリンピック教育を推進 ・中野区教育委員会「学校教育向上事業」において美鳩小学校が「共生社会を生かす資質・能力の育成～生活科・社会科・総合的な学習の時間を通して～」という研究主題で研究発表の実施 ・鷺宮小学校、谷戸小学校、第四中学校が「夢・未来」プロジェクト実施校としてオリンピック・パラリンピック教育の推進を実施 ・みなみの小学校・鷺宮小・第四中学校の3校が「オリンピック・パラリンピック教育アワード校」としてオリンピック・パラリンピック教育の推進を実施 ・第八中学校が「文化プログラム・学校連携事業」に参加し、共生社会の実現等に向けての取組を実施	A:実施した ・全幼稚園・小中学校において、オリンピック・パラリンピック教育実施計画書を作成し、教育課程に位置付けてオリンピック・パラリンピック教育を推進 ・中野区教育委員会「学校教育向上事業」において南中野中学校が「学校2020レガシー 地域の教育力とつながるボランティアマインドの醸成～【FOR 2050】未来に生きる力を育むための持続可能な取組を検証する～」という研究主題で研究発表の実施 ・啓明小学校が「夢・未来」プロジェクト実施校としてオリンピック・パラリンピック教育の推進を実施 ・明和中学校が「オリンピック・パラリンピック教育アワード校」としてオリンピック・パラリンピック教育の推進を実施	教育委員会事務局	
	9	1	不登校、日本語適応、LGBTなど、配慮を要する児童・生徒に対して、一人一人に応じたきめ細かな支援を進めます。	A:実施した ・教育相談室における相談受付 ・教育支援室による不登校児童・生徒の支援 ・教育相談研修を年2回実施 ・日本語指導員等派遣事業の実施 ・人権教育研修を年2回実施 ・区委嘱委員による人権教育推進委員会を年4回実施。人権教育推進資料を作成	A:実施した ・教育相談室における相談受付 ・教育支援室による不登校児童・生徒の支援 ・教育相談研修を年2回実施 ・日本語指導員等派遣事業の実施 ・教育支援室による日本語指導教室の実施 ・人権教育研修を年2回実施。 ・区委嘱委員による人権教育推進委員会を年4回実施。人権教育推進資料を作成	A:実施した ・教育相談室における相談受付 ・教育支援室による不登校児童・生徒の支援 ・教育相談研修を年2回実施 ・日本語指導員等派遣事業の実施 ・教育支援室による日本語指導教室の実施 ・人権教育研修を年2回実施 ・区委嘱委員による人権教育推進委員会を年4回実施。人権教育推進資料を作成	教育委員会事務局	
	9	1	保護者を対象として特別支援教育への理解促進を図ります。	A:実施した 中学校での特別支援教室が始まるため、指導内容や申込み方法について、希望する保護者へ説明会を実施	A:実施した ・各校のホームページに特別支援教室での指導について掲載 ・各学校の年度当初の保護者会等で、特別支援教育について説明	A:実施した ・各校のホームページに特別支援教室での指導について掲載 ・各学校の年度当初の保護者会等で、特別支援教育について説明	教育委員会事務局	
	9	1		A:実施した 就学相談の案内リーフレットを作成し、保護者等に配布して特別支援教育の理解促進に努めている。	A:実施した 就学相談の案内リーフレットを作成し、保護者等に配布して特別支援教育の理解促進に努めている。	A:実施した 就学相談の案内リーフレットを作成し、保護者等に配布して特別支援教育の理解促進に努めている。	教育委員会事務局	
	9	2	指導方法の充実によるわかりやすい授業の実施					
	9	2	授業改善、教員研修、校内研究の結果を全区的に活かす取組を進めながら、全ての子どもたちが「わかる」「できる」「共に学び合う」ユニバーサルデザインの授業を行います。また、デジタル福祉教材「あおぞら」を活用し、共生社会の実現に必要な資質・能力を育む学習を展開します。	A:実施した 桃園第二小学校が学校教育向上事業の指定を受け、「わかった・できた」を感じる事ができる授業作りの視点での授業改善に取り組んだ。	A:実施した 桃園第二小学校において、「わかった・できた」を感じる事ができる教育的支援の工夫について研究し、授業中の支援をまとめた資料を作成し、全校に配付して、各校でもユニバーサルデザインの視点で授業改善を行った。	A:実施した 中野中学校において中野区立中学校における合理的配慮のスタンダード確立に向けた研究を行い、個に応じた指導の充実についてまとめた資料を作成し、全校に配付して、各校でもユニバーサルデザインの視点で授業改善を行った。	教育委員会事務局	
	9	2	性同一性障害等に対する正しい理解と認識を深めるため教職員研修等を実施します。	A:実施した 第1回人権教育研修会にて「性同一性障害」「性的指向」についての研修の実施	A:実施した 中野区人権教育推進委員会において人権課題「性同一性障害」「性的指向」を扱った授業実践の実施及び人権教育推進資料の作成・配布	A:実施した 第1回人権教育研修会にて「性同一性障害」「性的指向」についての研修の実施	教育委員会事務局	
	10	ユニバーサルデザイン推進の担い手づくり						
	10	1 区職員の理解促進						
	10	1	ユニバーサルデザインの理解を深め、具体的な対応などを学ぶ研修を実施するほか、既存の研修についても、ユニバーサルデザインの視点から充実を図り実施します。	A:実施した 【ユニバーサルマナー研修】ユニバーサルデザインの理解を深め、窓口業務での対応方法などを学ぶ研修を実施した。	A:実施した 【ユニバーサルマナー研修】ユニバーサルデザインの理解を深め、窓口業務での対応方法などを学ぶ研修を実施した。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、資料学習及び映像視聴での形式で行った。	A:実施した 【ユニバーサルマナー研修】ユニバーサルデザインの理解を深め、窓口業務での対応方法などを学ぶ研修を行った。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点等から、オンライン形式で行った。	企画部	
				A:実施した 聴覚障害者が参加する研修で要約筆記を実施した。	A:実施した 聴覚障害者が参加する研修で要約筆記を実施した。	A:実施した 聴覚障害者が参加する研修で要約筆記を実施した。	総務部	
			A:実施した 犯罪をした人や立ち直りに支援を必要とする人への理解を深め、再犯防止の取組を進めるため、職員向け情報誌「RE:スタート」を作成・配信を開始した。	A:実施した 犯罪をした人や立ち直りに支援を必要とする人への理解を深め、再犯防止の取組を進めるため、職員向け情報誌「RE:スタート」を作成し、配信をした。職員研修については、新型コロナ感染症対策として延期した。	A:実施した 犯罪をした人や立ち直りに支援を必要とする人への理解を深め、再犯防止の取組を進めるため、職員向けの情報誌「RE:スタート」を作成し、配信をしたり、「再犯防止推進シンポジウム」や職員向け研修を実施して、周知を図った。	地域支えあい推進部		
			B:実施できなかったが、次年度実施予定 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業の実施を見送った。	A:実施した 【職員研修「手話への理解を深める」】3月に1回、動画視聴の方法により研修を実施し、42名が受講した。	A:実施した 【職員研修「区内障害者施設の紹介と、知的障害のある方への配慮について」】3月に1回、動画視聴の方法により研修を実施し、50名が受講した。	健康福祉部		

基本理念	施策の方向	主な取組	2019年度の取組実績		2020年度の取組実績		2021年度の取組実績		現所管部
10	1	障害者、高齢者、LGBTなど多様性の理解と認識を深める研修を実施します。	A:実施した	【人権セミナー】 人権理解、多様性及びユニバーサルデザイン研修を実施した。	A:実施した	【人権セミナー】 ・人権理解、多様性及びユニバーサルデザイン研修を実施した。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、集合形式から映像視聴に変更して行った。	A:実施した	【人権セミナー】 2021年12月7日に人権セミナーを実施した。 【中野区性的マイノリティ区民講座】 2021年11月30日に中野区性的マイノリティ区民講座を実施した。	企画部
			A:実施した	以下の職員研修を実施した。 ・手話講習会 ・「避難所運営で何が大切なのか」の実施	A:実施した	以下の職員研修を実施した。 ・避難所運営で何が大切なのか	A:実施した	以下の職員研修を実施した。 ・避難所運営で何が大切なのか ・自治体職員のためのSDGs研修	総務部
			A:実施した	犯罪をした人や立ち直りに支援を必要とする人への理解を深め、再犯防止の取組を進めるため、職員向けの情報誌「RE:スタート」を作成・配信を開始した。	A:実施した	犯罪をした人や立ち直りに支援を必要とする人への理解を深め、再犯防止の取組を進めるため、職員向けの情報誌「RE:スタート」を作成し、配信をした。	A:実施した	犯罪をした人や立ち直りに支援を必要とする人への理解を深め、再犯防止の取組を進めるため、職員向けの情報誌「RE:スタート」を作成し、配信をした。また、「再犯防止推進シンポジウム」や職員向け研修を実施して、周知を図った。	地域支えあい推進部
			B:実施できなかったが、次年度実施予定	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業の実施を見送った。	A:実施した	【職員研修「手話への理解を深める」】 3月に1回、動画視聴の方法により研修を実施し、42名が受講した。	A:実施した	【職員研修「区内障害者施設の紹介と、知的障害のある方への配慮について」】 3月に1回、動画視聴の方法により研修を実施し、50名が受講した。	健康福祉部
10	2	ユニバーサルデザイン推進を担う地域人材の養成							
10	2	ユニバーサルデザインについて、必要な知識やスキルなどをもち、地域にユニバーサルデザインの考え方を広げる区民の担い手を養成します。	A:実施した	【ユニバーサルデザインサポーター養成講座】 ・ユニバーサルマナー検定3級、障害疑似体験及びワークショップの区民向け講座を実施した。 ・18名のサポーターを養成。	B:実施できなかったが、次年度実施予定	【ユニバーサルデザインサポーター養成講座】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業の実施を見送った。	A:実施した	【ユニバーサルデザインサポーター養成講座】 ・ユニバーサルマナー検定3級及び区のユニバーサルデザインの取組についての区民向け講座をオンラインで実施した。 ・67名のサポーターを養成。	企画部
			A:実施した	【認知症サポーター養成講座】 ・開催回数:82回 ・受講者数:1,913人(累計19,729人)	A:実施した	【認知症サポーター養成講座】 ・開催回数:47回 ・受講者数:612人(累計20,341人)	A:実施した	【認知症サポーター養成講座】 ・開催回数:58回 ・受講者数:885人(累計21,226人)	地域支えあい推進部
11 ユニバーサルデザインの考え方を広げるしくみづくり									
11	1	区民・事業者に対する普及啓発							
11	1	ユニバーサルデザインについて広く理解を得るための講座等を開催するとともに、区民・事業者向けの普及啓発冊子等を作成します。	A:実施した	【ユニバーサルデザインパネル展】 ユニバーサルデザインについて広く理解を得るため、区役所ロビーにおいて普及啓発を行った。 【性的マイノリティトーク会の実施】 ・性的マイノリティ当事者等6名の講師よりリレー形式の講座を実施した。	A:実施した	【ユニバーサルデザインパネル展】 ユニバーサルデザインについて広く理解を得るため、区民が多く通行する中野駅ガード下ギャラリーにて普及啓発を行った。 【性的マイノリティ区民講座】 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より実施を見送った。	A:実施した	【ユニバーサルデザインパネル展】 ユニバーサルデザインについて広く理解を得るため、中野区役所ロビー及び中野駅ガード下ギャラリーにて普及啓発を行った。 ・ユニバーサルデザイン製品を展示した。 【性的マイノリティ区民講座】 ・性的マイノリティ当事者の講師による講座を実施した。	企画部
			B:実施できなかったが、次年度実施予定	犯罪をした人や立ち直りに支援を必要とする人の状況や区の再犯防止の取組について広く理解を得るため「再犯防止推進シンポジウム」を開催に向けて準備を進めた(新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として中止)	A:実施した	犯罪をした人や立ち直りに支援を必要とする人の状況や区の再犯防止の取組について広く理解を得るため「再犯防止推進シンポジウム」を開催した。	A:実施した	犯罪をした人や立ち直りに支援を必要とする人への理解を深め、再犯防止の取組を進めるため、「再犯防止推進シンポジウム」を実施して、周知を図った。	地域支えあい推進部
			B:実施できなかったが、次年度実施予定	【障害者理解啓発差別解消講演会】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業の実施を見送った。	A:実施した	【障害者理解啓発差別解消講演会】 12月に1回実施した。オンライン配信を行い、会場とあわせて63名が参加した。 【手話理解啓発講演会】(2020年度のみ) 3月に1回オンラインで実施した。58名が参加した。	A:実施した	【障害者理解啓発差別解消講演会】 1月に1回実施した。オンライン配信を行い、会場とあわせて58名が参加した。	健康福祉部
			A:実施した	子ども特別支援課が、リーフレット「子ども一人ひとりの理解と支援のために」を作成し、区民に配布した。	A:実施した	桃園第二小学校が授業のユニバーサルデザインについて研究し、区内の教員に対して発表し、資料の作成・配布した。	A:実施した	中野中学校が学校教育向上事業として、特別支援教室での指導や合理的配慮について区内の教員に対して研究発表及び資料を作成・配布した。	教育委員会事務局
11	1	区内事業者向け各種講座で、ユニバーサルデザインについて情報提供を行います。	B:実施できなかったが、次年度実施予定	2020年度に事業者向け講座の開催予算を確保する。	B:実施できなかったが、次年度実施予定	【事業者向けユニバーサルデザイン啓発講座】 東京商工会議所と共催でユニバーサルデザインに関する講座を開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大により、事業の実施を見送った。	A:実施した	【事業者向けユニバーサルデザイン啓発講座】 東京商工会議所と共催でユニバーサルデザインに関する事業者向け講座を実施した。	企画部
			A:実施した	女性の再就職を支援するためのセミナーを産業振興センターで実施した。	A:実施した	女性の再就職を支援するためのセミナーを産業振興センターで実施した。	A:実施した	女性の再就職を支援するためのセミナーを産業振興センターで実施した。	区民部
			D:未着手(検討していない)		A:実施した	「再犯防止推進シンポジウム」など、誰もが参加できる事業の組み立てとするなど、事業を通じてユニバーサルデザインに関する考え方の普及を図った。	A:実施した	「再犯防止推進シンポジウム」など、誰もが参加できる事業の組み立てとするなど、事業を通じてユニバーサルデザインに関する考え方の普及を図った。	地域支えあい推進部
			A:実施した	半数以上が事業者で構成される協議会において、ユニバーサルデザインに関する説明と、啓発冊子の配布を行った。	B:実施できなかったが、次年度実施予定	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業者が集まる機会が少なく、実施できなかった。	B:実施できなかったが、次年度実施予定	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業者が集まる機会が少なく、実施できなかった。	健康福祉部

基本理念	施策の方向	主な取組	2019年度の取組実績	2020年度の取組実績	2021年度の取組実績	現所管部				
	11	2	区民団体等による普及啓発の取組の支援							
	11	2	区が行う政策に合致し、区政目標の実現に貢献する活動を助成する「区民公益活動に関する政策助成」にユニバーサルデザインの視点を追加し、区民団体等が主体的に行う公益活動を支援します。	A:実施した	政策助成の審査基準で「ユニバーサルデザインへの配慮」の項目を追加した。審査基準は政策助成の申請手引きで公開しており、各区民団体が、事業計画段階でユニバーサルデザインに配慮された事業を計画するよう助言等を行っている。	A:実施した	2019年度の取組を継続。	A:実施した	2020年度の取組を継続。	地域支えあい推進部
	12 個性や多様性を大切にすること意識づくり									
	12	1	人権擁護・男女共同参画推進のための普及啓発							
	12	1	人権週間や男女共同参画週間等に実施するパネル展やイベント、男女共同参画センター情報誌「アンサンブル」等による普及啓発を行います。	A:実施した	【人権週間関連行事】 広く区民に対しての人権尊重思想の普及を目的として、東京人権擁護委員協議会中野地区との共催で、12月に中野駅前前で街頭啓発と、区役所1階区民ホールにてパネル展を実施した。 【男女共同参画週間関連行事】 参加者が講演を通じて男女共同参画社会に向けた気付きを得ることを目的として、男女共同参画週間講演会と、区役所1階区民ホールにてパネル展を実施した。	B:実施できなかったが、次年度実施予定	【人権週間関連行事】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業の実施を見送った。 【男女共同参画週間関連行事】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業の実施を見送った。	A:実施した	【人権週間関連行事】 街頭啓発に関しては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業の実施を見送った。 ・人権パネル展を中野駅ガード下ギャラリーで実施した。 【男女共同参画週間事業】 ・男女共同参画週間講演会の実施 ・男女共同参画週間パネル展の実施 ・男女共同参画センター情報誌「アンサンブル」44号の発行。区民の方から企画編集委員を公募し、協同して作成	企画部
	12	1	犯罪や非行を未然に防ぐとともに、犯罪歴や非行歴がある人も地域の一人として受け止め、立ち直りを支える共生社会を目指し、中野区再犯防止推進計画を策定し、関係機関と連携した取組を進めます。	A:実施した	犯罪や非行を未然に防ぎ、犯罪をした人や生きづらさを抱えて立ち直りに支援を必要とする人への理解促進と支援の取組を進めるため、「中野区再犯防止推進計画」の策定に向けた庁内検討を進めるとともに、関係団体等の意見交換等を進めた。	A:実施した	「中野区再犯防止推進計画」を策定し、関係機関や関係団体と取組を進めるための協議等を進めた。	A:実施した	犯罪をした人や立ち直りに支援を必要とする人への理解を深め、再犯防止の取組を進めるため、職員向けの情報誌「RE:スタート」を作成し、配信をしたり、「再犯防止推進シンポジウム」や職員向け研修を実施して、周知を図った。	地域支えあい推進部
	12	2	国際理解・国際化推進のための普及啓発							
	12	2	姉妹都市や友好関係にある海外自治体との交流を通じて相互理解を深めるとともに、交流自治体をさらに広げていきます。	A:実施した	子ども交流事業を通して、ニュージーランドのウェリントン市との交流を実施した。	A:実施した	友好関係にある西城区とオンラインにて交流を実施した。	A:実施した	友好関係にある西城区と友好区締結35周年記念交流をオンラインにて交流を実施した。	区民部
	12	2	中野区国際交流協会の取組を支援し、国際交流事業を実施します。	A:実施した	国際交流協会が行う市民交流事業や日本語講座等について支援を実施した。	A:実施した	・国際交流協会が行う市民交流事業や日本語講座等について支援を実施した。 ・日本語教室について、中学生向け日本語教室を実施し、日本語教室の充実を図った。	A:実施した	・国際交流協会が行う市民交流事業や中学生日本語集中教室について支援を実施した。	区民部
	12	3	障害者差別解消のための普及啓発							
	12	3	障害者週間に区民向けの啓発事業を実施するほか、障害者施設等が実施するまつりなど交流事業等における交流の機会をつくりまします。	A:実施した	一部実施 【障害者理解啓発差別解消講演会】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業の実施を見送った。 【障害者施設等におけるまつり】 障害者会館や弥生福祉作業所等区立施設においてまつりを実施し、近隣住民との交流を図った。	A:実施した	一部実施 【障害者理解啓発差別解消講演会】 12月に1回実施した。オンライン配信を行い、会場とあわせて63名が参加した。 【障害者施設等におけるまつり】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業の実施を見送った。	A:実施した	【障害者理解啓発差別解消講演会】 1月に1回実施した。オンライン配信を行い、会場とあわせて58名が参加した。 【障害者施設等におけるまつり】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業の実施を見送った。	健康福祉部
	12	3	手話通訳者養成講習会を開催するなど、手話によるコミュニケーションを必要としている方が自立した生活ができる環境づくりを進めます。	A:実施した	【手話講習会】 手話通訳者の養成を行い、新たに3名の手話通訳者を登録した。 【手話通訳者研修会】 手話通訳者の技術を保持し、向上させるため、月2回の研修を実施した。	A:実施した	一部実施 【手話講習会】 手話通訳者養成クラスのみ実施した。入門・基礎・応用クラスは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業の実施を見送った。 【手話通訳者研修会】 手話通訳者の技術を保持し、向上させるため、月2回の研修を実施した。	A:実施した	【手話講習会】 手話講習会(入門・基礎・応用・養成クラス)を実施し、手話通訳者の養成を実施した。 【手話通訳者研修会】 手話通訳者の技術を保持し、向上させるため、月2回の研修を実施した。	健康福祉部
	12	4	性的少数者に対する理解促進のための取組							
	12	4	パートナーシップ宣誓・宣誓書等受領証の交付など、LGBT等の性的少数者への理解を促進する取組を進めます。	A:実施した	【パートナーシップ宣誓制度の運営】 ・2018年8月からパートナーシップ宣誓制度開始した。 ・2019年度はパートナーシップ宣誓書受領証28件、公正証書等受領証1件を交付した。	A:実施した	【パートナーシップ宣誓制度の運営】 ・パートナーシップ宣誓書受領証18件、公正証書等受領証2件を交付した。 ・制度利用者の利便性向上のため、受領証の小型化するとともに手続きの簡略化した。	A:実施した	【パートナーシップ宣誓制度の運営】 ・パートナーシップ宣誓書受領証34件、公正証書等受領証7件を交付した。	企画部
				—		A:実施した	(選挙管理委員会事務局) 投票用紙を交付する際、男女を選択するボタンを押して人数を計測しているが、2020年7月5日執行の東京都知事選挙から、ボタンを外部から見えないように変更した。	A:実施した	(選挙管理委員会事務局) 申請書に性別欄がない点検を行っている。また、各投票所所有権者の受付を行う際に、LGBTに配慮した対応を行うよう啓発している。	各部